

R3年度地域課題WG 中間報告書

提出日 令和 7 年 2 月 25 日 WG名 高齢化問題 WG

テーマ 高齢化問題（グループホームの通院支援の現状から、今後のあり方を探る。）

WG 事務局：ケアマネ：青木・浅井・小池・西川・二木、 長野市：齋藤、 運営委員：荒井、勝山

会議開催日：R6/7/8、7/29、8/26、9/30、10/28、11/28、R7/1/27、2/25（全8回）

話し合った内容・得られた結果	今回のテーマ・新たな課題	今後の方向性
<p>グループホームの通院支援から見えてくる課題について、大きく2つの検討を行った。途中からくらし部会とも協働。</p> <p>1. 市内全グループホームに対して、通院支援のアンケート調査を実施(回収率 79%)。自力通院は本人が 50 代まで、ご家族の付き添いは本人が 40 代までは期待できるが、それ以降は高齢化に伴い事業所に任せられる割合が高くなる。さらに普段の様子をよく分かる人の付き添いを求められることもあり、単純な付き添いで済まない場合が多くなっていく。一方で通院支援の担い手は不足しているため、グループホームの職員が対応する機会が多く、制度的なバックアップが欲しい状況。(詳細は別紙)</p> <p>2. 通院が困難な方に有効な手段と考えられる、訪問診療やオンライン診療等についての情報収集をした。長野市内には訪問診療を導入したグループホームがあることを確認した。</p>	<p>○通院支援に対する要望をまとめる。</p> <p>【既存のサービスの利用の可能性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長野市移動支援サービスの要件や内容の一部見直しについて検討する。 <p>【新規事業の制度化に向けて】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(アンケートより)グループホームにおいて通院の付き添いへの負担も大きいが無報酬で対応している事業所が多い。グループホームで対応せざる得ない場合の通院の付き添いに対する補助や加算などを求める声も多かったことから市単補助の制度化に向けて検討する。 <p>○R9 年度の報酬改定に向けて、通院支援サービスに対する実情をまとめる。</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 継続</p> <p><input type="checkbox"/> 施策化</p> <p><input type="checkbox"/> 再WG化</p> <p><input type="checkbox"/> 終結</p>